

国立病院機構におけるがん医療に携わる医師に対する

コミュニケーション技術研修会個別開催に

関わったの参加者、講師、模擬患者の方へ

当院では、以下の研究を実施しております。

【研究課題名】 国立病院機構におけるがん医療に携わる医師に対する

コミュニケーション技術研修会個別開催実態について検討

【研究機関】 近畿中央呼吸器センター

【研究の目的】 国立病院機構におけるがん医療に携わる医師に対する

コミュニケーション技術研修会個別開催実態について、開催数、参加数、開催環境などについて調べることが目的である。

【研究の方法】

●対象 2007年4月から2027年3月末までに国立病院機構におけるがん医療に携わる医師に対するコミュニケーション技術研修会個別開催され日本サイコオンコロジー学会提出の個別開催報告書、学会ホームページ、担当委員会記録が保存されている研修会。

●利用する試料・情報の種類 2007年4月から2027年3月末までに国立病院機構におけるがん医療に携わる医師に対するコミュニケーション技術研修会個別開催され日本サイコオンコロジー学会提出の個別開催報告書、学会ホームページ、担当委員会記録が保存されている研修会記録より開催施設、開催回数、研修参加数、全国個別開催施設数、全国個別参加者数、全国開催数、全国参加数、開催場所、開催資金、認定ファシリテーターに関すること、模擬患者

に關することを利用、取集する。

●外部への試料・情報の提供 特になし

●研究組織

①研究を実施する全ての共同研究機関及び研究責任者

研究代表者：近畿中央呼吸器センター 心療内科/支持・緩和療法チーム

所 昭宏

研究事務局：近畿中央呼吸器センター 心療内科/支持・緩和療法チーム

所 昭宏

②既存試料・情報の提供のみを行う機関

なし

【研究の資金源】 なし

【利益相反】

臨床研究における、利益相反（COI：Conflict of Interest）とは「主に利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれに当たります。このような経済的活動が、臨床研究の結果を特定の企業や個人にとって有利な方向に歪曲させる可能性を判断する必要があり、そのために利害関係を管理することがさだめられています。

本研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではありませんので、利益相反はございません。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所、電子メールアドレスなど、対象者を直接同定できる個人情報は収集をしていません。情報は代表者をはじめとする事務局のみが利用します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を特定できる個人情報は利用しません。

◎本研究に関してご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

◎試料・情報が当該研究に用いられることについて対象者もしくは対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも個人に不利益が生じることはありません。

◎この研究は臨床研究審査委員会における厳重な審査・承認後、院長の許可を受け実施しております。

【研究代表者】

近畿中央呼吸器センター 心療内科／支持・緩和療法チーム

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180 番地

TEL (072) 252-3021 (代)

心療内科科長/支持・緩和療法チーム室長 所 昭宏

【研究事務局】

近畿中央呼吸器センター 心療内科／支持・緩和療法チーム

〒591-8555 大阪府堺市北区長曽根町 1180 番地

TEL (072) 252-3021 (代)

心療内科科長/支持・緩和療法チーム室長 所 昭宏
